

2026 年 7 月 30 日
株式会社テー・オー・ダブリュー

NEWS RELEASE

TOW 主催事業
「AMBIENT KYOTO」がこの夏、初の東京開催
RYUICHI SAKAMOTO + SHIRO TAKATANI
AMBIENT KYOTO – TOKYO

会期：2026 年 8 月 28 日（金）～10 月 25 日（日）

会場：麻布台ヒルズギャラリー

株式会社テー・オー・ダブリュー（本社：東京都港区、代表取締役社長：村津憲一、以下 TOW）は、TOW グループのパーパス「新しい時代の体験を創る」の実現に向け、リアルエンタメ領域の強化を進めております。その取り組みの一環として、当社が 2022 年の初開催以来、主催幹事および企画・制作を担ってきたアンビエントをテーマとする体験型アート展プロジェクト「AMBIENT KYOTO」として初となる東京展「RYUICHI SAKAMOTO + SHIRO TAKATANI AMBIENT KYOTO - TOKYO」を、2026 年 8 月 28 日（金）から 10 月 25 日（日）まで、麻布台ヒルズギャラリーにて開催いたします。



キービジュアル：高谷史郎 / 南 琢也 | キービジュアル写真：永禮 賢 | async - immersion 2023

本展は、港区の麻布台ヒルズギャラリーを会場に、「AMBIENT KYOTO 2023」で発表した坂本龍一 + 高谷史郎（ダムタイプ）による作品「async - immersion」を展開します。

横幅 26.4m もの巨大スクリーンを使った単体展示の贅沢な空間だからこそ得られる圧倒的な体験、そして、音楽・映像・音響・空間・来場者が一体となって生み出す特別な作品。「AMBIENT KYOTO 2023」と同等のスケールで体験できるのは、同展以降初めてとなります。

音響ディレクターは、「AMBIENT KYOTO 2023」に続き、坂本龍一の晩年の作品で知られる ZAK が担当。麻布台ヒルズギャラリーの空間に合わせて再構築します。

なお、本展の開催に先駆け、「AMBIENT KYOTO 2023」で展示した「async - immersion 2023」の映像を本日より公開するとともに、2026 年 8 月 6 日（木）正午より鑑賞券の販売を開始します。鑑賞券を会期前にご購入いただいた方には、来場特典としてオリジナルステッカーをプレゼントします。

【開催概要】

■タイトル：RYUICHI SAKAMOTO + SHIRO TAKATANI AMBIENT KYOTO – TOKYO

■会期：2026 年 8 月 28 日（金）～10 月 25 日（日）／無休・59 日間の開催

■会場：麻布台ヒルズギャラリー

■開館時間：平日：10:00～19:00／土・日曜・祝日：10:00～20:00（最終入館は閉館の 30 分前）

■アーティスト：坂本龍一 + 高谷史郎

■鑑賞料：平日：大人 2,200 円（前売）／2,500 円（当日）

土・日曜・祝日：大人 2,500 円（前売）／2,800 円（当日）

※高校生以下・障害者手帳をお持ちの方（付き添いの方 1 名含む）は無料

■観覧券（前売）販売サイト：<https://ambientkyoto.com/#ticket>

■主催：AMBIENT KYOTO 実行委員会（TOW / Traffic）

■企画制作：TOW / Traffic

■特別協力：KAB Inc. / Dumb Type Office

■広報協力：HOW INC. / Qetic

■協力：HACIENDA / HAPPYMONDAY Co.,Ltd.

■後援：J-WAVE

■協賛：OGAWA

Official Website：<https://ambientkyoto.com/>

X：<https://x.com/ambientkyoto>

Instagram：<https://www.instagram.com/ambientkyoto>

Facebook：<https://www.facebook.com/ambientkyoto>

【「async - immersion 2023」映像 特別公開】



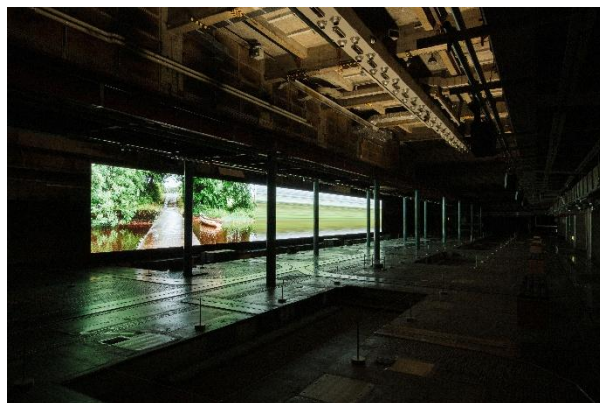
<https://www.youtube.com/watch?v=qz7pwPzFOiY>

【展示作品「async - immersion」】

坂本龍一の 2017 年のアルバム『async』をベースに、高谷史郎による映像と、ZAK による立体音響によって構成されたインスタレーション作品。「AMBIENT KYOTO 2023」において、「坂本龍一 + 高谷史郎 | async - immersion 2023」として初展示され、大きな反響を呼びました。

坂本が追求した「空間に音を立体的に設置する」という構想である「設置音楽」のコンセプトのもとに展開された「async」シリーズの集大成とも言える本作。高谷が手がけた映像は、「async」（非同期）というタイトルの通り、音に呼応しながらも完全には同期しません。

音と映像の関係が絶えず変化し続ける時間のなかで、観客の感覚は静かに揺らぎ、作品世界の深層部へと導かれていく。観るだけではない。聴くだけでもない。楽曲、映像、音響、空間、そしてあなたがひとつになる、一度限りの没入体験に誘います。



坂本龍一 + 高谷史郎 | async - immersion 2023 | Photo : Satoshi Nagare

【アーティストプロフィール】

坂本龍一



Photo: Neo Sora ©2020 KAB Inc.

1952 年東京生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。1978 年『千のナイフ』でソロデビュー。同年、YMO の結成に参加。1983 年に散開後は『音楽図鑑』、『BEAUTY』、『async』、『12』などを発表、革新的なサウンドを追求し続けた姿勢は世界的評価を得た。映画音楽では『戦場のメリークリスマス』で英国アカデミー賞作曲賞を、『ラストエンペラー』でアカデミー賞作曲賞、ゴールデングローブ賞、グラミー賞など多数受賞。『LIFE』、『TIME』などの舞台作品や、韓国、中国、日本での大規模インスタレーション展など、アート界への越境も積極的に行なった。環境や平和問題への言及も多く、森林保全団体「more trees」を創設。また「東北ユースオーケストラ」を設立して被災地の子供たちの音楽活動を支援した。2023 年 3 月 28 日逝去。www.sitesakamoto.com

高谷史郎



1984 年、京都市立芸術大学在学中に「ダムタイプ」のメンバーとして活動を始め、様々なメディアを用いたパフォーマンスやインスタレーション作品の制作に携わり、世界各地の劇場や美術館、アートセンターで公演や展示を行う。1998 年からダムタイプの活動と並行して個人の制作活動を開始。近年の主な活動としては、2021 年、坂本龍一とのシアターピース『TIME』をオランダ・フェスティバルで世界初演。2022 年、ダムタイプは坂本龍一を新メンバーに迎え、ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展・日本館で新作《2022》を展示。2023 年にアーティゾン美術館（東京）で、ヴェネチア・ビエンナーレ帰国展「ダムタイプ | 2022: remap」展示。2024 年春、『TIME』を東京・新国立劇場およびロームシアター京都で上演。現在、インスタレーション《WINDOWS》を、ミュージアムタワー京橋（東京）で展示中。shiro.dumbtype.com

【会場】



麻布台ヒルズギャラリー

港区虎ノ門 5-8-1 麻布台ヒルズ ガーデンプラザ A MB 階

アクセス

東京メトロ日比谷線『神谷町駅』5 番出口地下 1 階から直結
東京メトロ南北線『六本木一丁目駅』4 番出口 徒歩 7 分

【AMBIENT KYOTO】

アンビエントをテーマにした音・映像・光のエキシビジョン

「アンビエント」をテーマにした「音」と「アート」、そして「空間」による展覧会です。

2022年の初開催以来、日常と非日常、伝統と新しいカルチャー、そこに住む人とそこを訪れる人―。その境界を横断しながら、京都という都市が持つ文化や風土とともに、新たな体験を創出しています。2022年の1回目には、アンビエント・ミュージックの創始者ブライアン・イーノの展覧会〈BRIAN ENO AMBIENT KYOTO〉を開催。

2023年2回目の開催では、京都新聞ビル地下1階に坂本龍一＋高谷史郎による作品を展示し、スピーカー29台とサブウーファー6台を使用。立体的な音響体験を実現しました。また、築約100年の歴史的建造物「京都中央信用金庫 旧厚生センター」にコーネリアス、バッファロー・ドーター、山本精一を迎え、音と映像、そして光のインスタレーションを展開しました。

【関連展覧会】

RYUICHI SAKAMOTO & TIN DRUM KAGAMI+ (sakamoto-kagami.com)

■会期：2026年6月27日（土）～10月12日（祝・月）

■会場：VS.（大阪府大阪市北区大深町6-86 グラングリーン大阪 うめきた公園 ノースパーク）

■開館時間：10:00～20:00（日時指定制）／休館日月曜日（祝日、連休の場合は祝日明け平日）

■実施内容：坂本龍一とTodd Eckert率いるTin Drumが、坂本の最後の4年間で費やして共に制作したプロジェクト。坂本龍一のピアノ演奏を三次元的に捉え、現実空間に重ね合わせるMR（複合現実）作品「KAGAMI」を展示。高谷史郎との共作インスタレーション《TIME, TIME》も同会場内に展示されている。

■株式会社テー・オー・ダブリューの概要

商号	株式会社テー・オー・ダブリュー
所在地	東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル 3F
代表者	代表取締役社長 村津憲一
資本金	9億4,899万円

【プレスお問合せ先】

〈RYUICHI SAKAMOTO + SHIRO TAKATANI AMBIENT KYOTO - TOKYO〉PR窓口 HOW INC.

MAIL：pressrelease@how-pr.co.jp TEL 03-5414-6405

【展示・AMBIENT KYOTO へのお問い合わせ】

AMBIENT KYOTO 実行委員会

MAIL info@ambientkyoto.com

【会場についてのお問い合わせ】

麻布台ヒルズギャラリー

MAIL azabudaihillsgallery@mori.co.jp

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社テー・オー・ダブリュー コーポレート室 広報担当：村松

電話：03-5777-1888 MAIL：tow_info@tow.co.jp